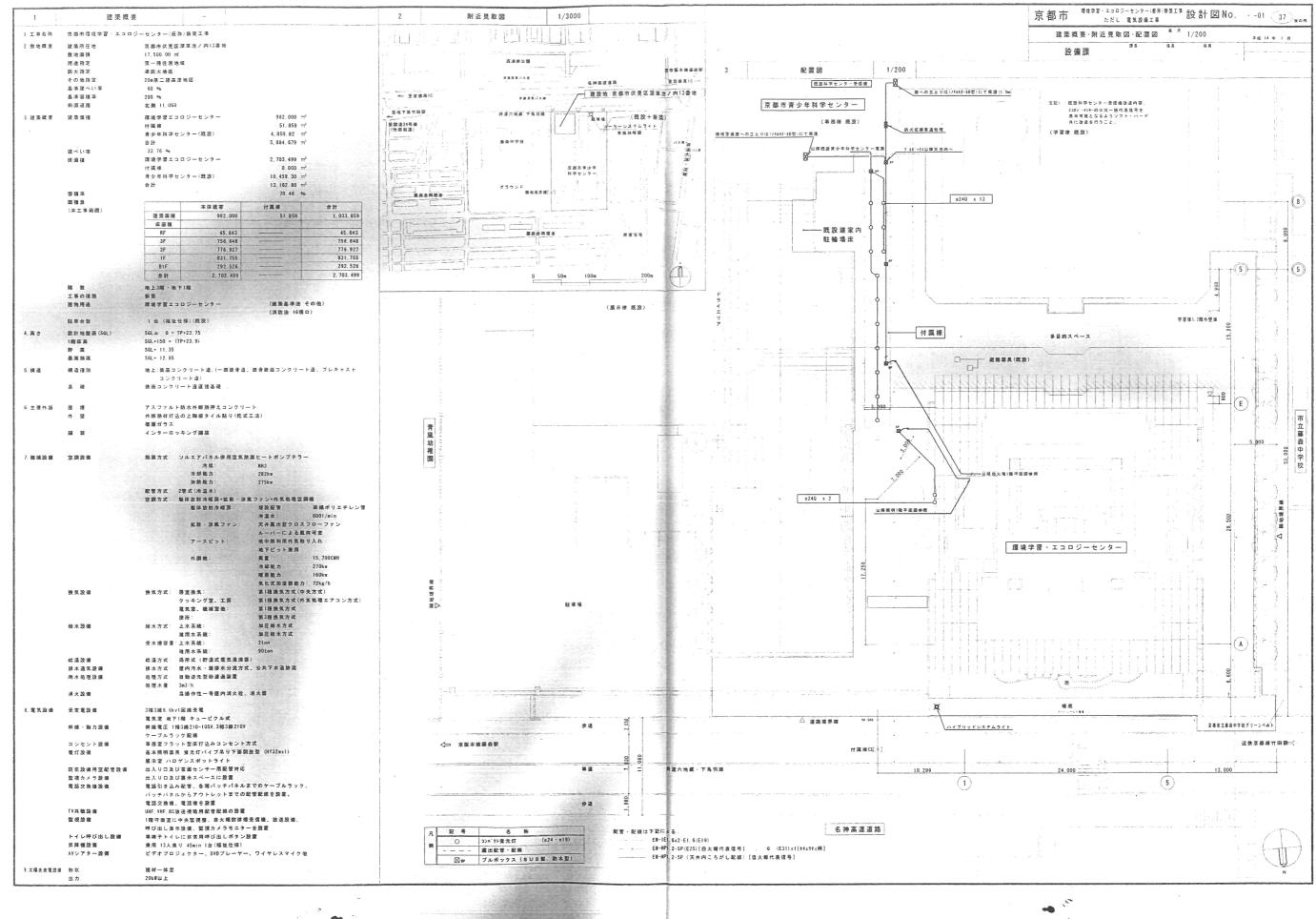
別紙① 京エコロジーセンター建築概要・附近見取図・配置図



.

別紙② 特記仕様書(1)

1 工事48	特記仕様書(平成11年度版) (選択する項目において口印を本工事に適用する。)
大だし 支菜油 工業 工業 工業 2 工業場所 京市 住民屋 三日本/月前13日進 単内 3 工 所 田田田山市のの 日本 月 4 歴物理要 歴地理理1590 「 田田田田山市の 所 市 日本 月 4 歴術理要 歴史理典 日本 日本 月 日 日 日本 月 日 日 日本 月 日	1 工 事 名 京都市 環境学習エコロジーセンター(仮称)新委 工事
2 日本 中市小 1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.	ただし 電気設備 工事
 4. 建物研研研 数単語目 11:00 *m 数数数目 11:00 *K 単 数 11:00 *K 単 数 11:00 *K 単 数 11:00 *K 単 数 11:00 *K *K	
<form></form>	
<page-header> 1 - 0494 - 049</page-header>	橋 造 ⅢRC一部 □S □SRC □木造 地下 1階. 地上 3階 別 棟
<text><text><text><text><text><text><text><text><text><text><text><text><text><text></text></text></text></text></text></text></text></text></text></text></text></text></text></text>	
<text><text><text><text><text><text><text><text><text><text><text><text><text><text></text></text></text></text></text></text></text></text></text></text></text></text></text></text>	
<text></text>	
<text><text><text><text><text><text><text><text><text><text><text><text><text><text><text></text></text></text></text></text></text></text></text></text></text></text></text></text></text></text>	(2) 契約の保証
<text><text><section-header><form></form></section-header></text></text>	
<section-header><section-header><section-header><section-header><section-header><section-header><section-header><text><text><text><text><text><text><text><text><text><text><text></text></text></text></text></text></text></text></text></text></text></text></section-header></section-header></section-header></section-header></section-header></section-header></section-header>	
<text><text><text><text><text><text><text><text><text><text><text></text></text></text></text></text></text></text></text></text></text></text>	口保証の免除
<text><text><text><text><text><text><text><text><text><text><text></text></text></text></text></text></text></text></text></text></text></text>	(3) 雅魯丹金の支払各处
<text><text><text><text><text><text><text><text><text></text></text></text></text></text></text></text></text></text>	
<text><text><text><text><text></text></text></text></text></text>	
<text><text><text><text></text></text></text></text>	
· 的服白 東東東(12-43)年度工事出来高子交接の(), 45.0 भ4.0 / 1 / 1 - 2 年度 平成(12-43)年度工事出来高子交接の(), 45.0 भ4.0 / 1 / 1 - 2 年度 () 年度工事出来高子交接の(), 45.0 / 1 / 1 / 1 - 2 年 () 年度() 1 / 1 - 2 + 2 - 2 + 2 + 2 + 2 + 2 + 2 + 2 + 2	
支払年度 前払金支払履度 度 前 平成 12年度 平成(12~13) 年度工事出来高予定語の() 1%以内 平成 145 142 142 142 142 平成() 142 13 142	
 ○部分払 : 回数 平成 (13) 年度 (1) 回以内 平成 () 年度 () 回以内 平成 () 年度 () 回以内 平成 () 年度 () 回以内 ○完成払 : 工事完成後 ○完成払 : 工事完成後 ○完成払 : 工事完成後 ○完成払 : 工事完成 ○<u>支 払 單 度 英 払 限 度 節 工事出 平素 予 築 項 平成 12年度 請負代金の (45) %以内 請負代金の (10) %以内 平成 13年度 請負代金の (5) %以内 請負代金の () %以内</u> ○第二、12年度 請負代金の () %以内 請負代金の () %以内 ○第二、13年度 請負代金の () %以内 ○第二、13年度 請負代金の () %以内 ○第二、13年度 請負代金の () %以内 ○○、(4) 監督員事務所は下記による。 ■最工事にて設置する。(4, 椅子, 書籍, 衣類□13-共) ただし、安全相、健中電灯、ゴム長載、単手, 作業者, 防寒着等は本工事にて差 請する。 □本工事にて設置 (□面積10^m 以上 □) ■品等については、次による。 4、 椅子, 書編, 衣類□13- 義活, 冷暖展後, 墨飯, 手表い, 満満設備, 安全相 健中電灯、ゴム長載、軍手, 作業者, 防寒着, 雨会羽, ジオ, 揚除具, 時計, 消化器, 冷蔵庫。 (5) 主任 (監理) 技術者の資格は下記による。 「 主任技術者は, 建設未法による主任技術者の資格を有する者とする。 ■必ず設置 6 仕様 概要 (1) 共通事項 「 電気工作物の得面 画事未用電気工作物 □ 一般用電気工作物 (電線管 (7) 屋内で使用する電線管は、特記のない場合ねじなし電線管とする。 	支払年度 前払金支払限度 平成 12年度 平成 年度 平成 1
中成())年成())年成())日以内 中成())年成())日成 ・完成社::::::::::::::::::::::::::::::::::::	高予定額に対する前払金を支払う。
・完成払 : 工事完成差 ・名年度の支払履度組及び工事出未高子変額は最ね下記の比率による。 東成 1 2年度 強負代金の(45)%以内 損負代金の(10)%以内 平成 1 3年度 強負代金の(55)%以内 損負代金の(90)%以内 平成 1 3年度 議負代金の(55)%以内 損負代金の(90)%以内 平成 1 年度 議負代金の(55)%以内 損負代金の(90)%以内 平成 1 年度 議負代金の(55)%以内 損負代金の(90)%以内 平成 年度 議負代金の(10)%以上 (10)% ・朝払金、部分払金の当該年度の累計は、その年度の支払限度額を超えることはできない。 ・朝払金、部分払金の当該年度の累計は、その年度の支払限度額を超えることはできない。 ・朝払金、部分払金の当該年度の累計は、その年度の支払限度額を超えることはできない。 ・朝払金、部分払金の当該年度の累計は、その年度の支払限度額を超えることはできない。 ・朝払金、部分払金の当該年度の累計は、その年度の支払限度額を超えることはできない。 ・朝払金、部分払金の当該年度の累計は、その年度の支払限度額を超えることはできない。 ・朝払金、部分払金の当該年度の累計は、その年度の支払限度額を超えることはできない。 ・朝払金、部分払金の当該年度の累計は、その年度の支払限度額を超えることはできない。 ・ 第二、 ・ 第二、 ・ 日の電信10 ^m 以上 □) 湯島については、次による。 ・ れ考示、常規、	平成 () 年度 () 回以内
■建築工事にて設置する。(机、将子、書紙、衣類ロッカー共) ただし、安全線、領中電灯、1/4長後、草子、作素素、防寒港等は本工事にて準、領する。 ロ本工事にて設置 (□面積10m 以上 □) 厳品等については、次による。 机、待子、審領、衣類ロッカー、電話、冷暖房後、単板、手洗い、満沸設備、安全線 慎中電灯、1/4長後、草子、作素素、防寒港、雨合羽、10/1・描除具、時計、 消化器、冷蔵庫。 (5)主任(監理)技術者の資格は下記による。 7 主任技術者は、建設楽法による主任技術者の資格を有する者とする。 ■専任 □非専任 4 監理技術者は、推定副設案監理技術者資格者証を取得した者とする。 ■必ず設置 6 仕様 概要 (1) 共通事項 7 電気工作物の得類 ■事業用電気工作物 □一般用電気工作物 4 電線管 (7) 屋内で使用する電線管は、特記のない場合ねになし電線管とする。	・完成払 : 工事完成後 ・各年度の支払限度額及び工事出未高予定額は概ね下記の比率による。 支払 年度 支払 年度 平成 12年度 調合代金の(45) %以内 調合代金の(10) %以内 平成 13年度 請合代金の(0) %以内 第合代金の(0) %以内 第合代金の(0) %以内 第合代金の(0) %以内 第の払金 部分払金の当該年度の累計は、その年度の支払限度額を超えるこ
ただし、安全線、線中電灯、314長後、軍手、作業業、防寒激帯は本工事にて準 備する。 ロ本工事にて設置 (口面積10m 以上 口) 備品等については、次による。 机、椅子、書棚、衣類ロカ・電話、冷暖房後、風板、手洗い、湯溶設備、安全線 懐中電灯、314長後、軍手、作素素、防寒者、雨合羽、7571、掃除具、時計、 消化器、冷蔵庫。 (5)主任(監理)技術者の資格は下記による。 7 主任技術者は、建設東法による主任技術者の資格を有する者とする。 ■専任 □非専任 4 監理技術者は、指定建設東監理技術者資格者証を取得した者とする。 ■必ず設置 5 仕様 概要 (1)共通事項 7 電気工作物の環境 ■事業用電気工作物 □一般用電気工作物 4 電線管 (7) 屋内で使用する電線管は、特記のない場合ねになし電線管とする。	
□木工事にて設置 (□面積10m 以上 □) 第品等については、次による。 机、椅子、雪銀、衣類ロット、電話、冷暖房後、風板、手洗い、湯湯設備、安全帽 慢中電灯、ゴム長靴、軍手、作素者、防害者、雨合羽、ジンオ、掃除具、時計、 消化器、冷蔵庫。 (5)主任(監理)技術者の資格は下記による。 7 主任技術者は、建設素法による主任技術者の資格を有する者とする。 画専任 □非専任 4 監理技術者は、推定副設素監理技術者資格者証を取得した者とする。 ■必ず設置 6 仕様 概要 (1) 共通事項 7 電気工作物の環境 ■事業用電気工作物 □一般用電気工作物 4 電線管 (7) 風内で使用する電線管は、特記のない場合ねになし電線管とする。	
 机、将子、客棚、衣類ロッb・電話、冷暖房後、風販、手洗い、湯湯設築、安全幅 塩中電灯、ゴム長靴、軍手、作素者、防寒者、雨合羽、ジオ、揚除具、時計、 消化器、冷蔵席。 (5)主任(猛理)技術者の資格は下記による。 7 主任技術者は、建設来法による主任技術者の資格を有する者とする。 ■専任 □非専任 イ 監理技術者は、指定建設素監理技術者資格者証を取得した者とする。 ■必ず設置 6 仕様 概要 (1)共通享項 7 電気工作物の得須 ■専来用電気工作物 □一板用電気工作物 イ 電線管 (7)屋内で使用する電線管は、特記のない場合ねになし電線管とする。 	
 塩中電灯、ゴム長靴、葉手、作素素、防寒港、雨合羽、ジオ、揚除具、時計、 消化器、冷蔵庫。 (5)主任(監理)技術者の資格は下記による。 7 主任技術者は、建設来法による主任技術者の資格を有する者とする。 ■専任 □非専任 イ 監理技術者は、指定建設素監理技術者資格者証を取得した者とする。 ■必ず設置 6 仕様 概要 (1)共通享項 7 電気工作物の得須 ■事来用電気工作物 一般用電気工作物 イ 電線管 (7)屋内で使用する電線管は、特記のない場合ねになし電線管とする。 	
消化器、冷蔵库。 (5)主任(堅理)技術者の資格は下記による。 7 主任技術者は、建設来法による主任技術者の資格を有する者とする。 事専任 □非専任 4 監理技術者は、指定建設東監理技術者資格者証を取得した者とする。 届必ず設置 5 仕様 概要 (1) 共通享項 7 電気工作物の得類 属事来用電気工作物 □一般用電気工作物 4 電線管 (7) 屋内で使用する電線管は、特記のない場合ねになし電線管とする。	
ア 主任技術者は、建設素法による主任技術者の資格を有する者とする。 ■専任 □非専任 イ 監理技術者は、指定建設素監理技術者資格者証を取得した者とする。 ■必ず設置 6 仕様概要 (1) 共通事項 ア 電気工作物の得頭 事素用電気工作物 □一般用電気工作物 イ 電線管 (ア) 屋内で使用する電線管は、特記のない場合ねじなし電線管とする。	
ア 主任技術者は、建設素法による主任技術者の資格を有する者とする。 ■専任 □非専任 イ 監理技術者は、指定建設素監理技術者資格者証を取得した者とする。 ■必ず設置 6 仕様概要 (1) 共通事項 ア 電気工作物の得頭 ■事来用電気工作物 □一般用電気工作物 イ 電線管 (ア) 屋内で使用する電線管は、特記のない場合ねじなし電線管とする。	(F)+は(鉄油) 甘浜寺の多枚はておに ドス
 4 監理技術者は、指定建設業監理技術者資格者証を取得した者とする。 目のず設置 6 仕様概要 (1)共通事項 7 電気工作物の得頭 目事来用電気工作物 1 電線管 (7) 屋内で使用する電線管は、特記のない場合ねじなし電線管とする。 	
■必ず設置 6 仕様 概要 (1) 共通事項 7 電気工作物の得頭 善事来用電気工作物 イ 電線管 (7) 最内で使用する電線管は、特記のない場合ねじなし電線管とする。	
 6 仕様概要 (1)共通事項 ア 電気工作物の得須	
 (1)共通事項 ア 電気工作物の径類 	
 ア 電気工作物の径類 ■事来用電気工作物 □一股用電気工作物 イ 電線管 (ア)屋内で使用する電線管は、特配のない場合ねじなし電線管とする。 	6 仕様概要
■事業用電気工作物 ロー股用電気工作物 イ 電線管 (ア)屋内で使用する電線管は、特記のない場合ねじなし電線管とする。	
イ 電線管 (ア)屋内で使用する電線管は、特記のない場合ねじなし電線管とする。	
(ア)屋内で使用する電線管は、特記のない場合ねじなし電線管とする。	
ただし、屋外、湿気の多い場所及び、水気などのある場所は、薄切又は運調	
	ただし、屋外、湿気の多い場所及び、水気などのある場所は、薄頭又は厚調
電線層とし、その種別は特記仕様による。	電線雷とし、その種別は特記仕様による。

-			
	(イ)長さ1m以上の空配管には呼線として	・ nearビニル装置許線を入線する 「	
	(1) 云さ「回以上の空配管には呼線として、 ものとする。	1 ・ 2 間 に 二 ル 欲 弦 妖 称 と 八 称 7 ら	
	(ウ)屋外、湿気の多い場所及び水気などの	ある場所で使用する2種金属製可機	- Andrewski - A
	電線管はビニル被覆付きとする。		
	(エ) 隠蔽のケーブル配線の場合、壁面に設	置する機器頭に接続するケーブルは	12036
÷	PF管にて天井内まで保護する。 電線		
	(ア)特記なき電線は600耐熱性ポリエチ	レン絶縁電線(IE)とする。	£.
	(イ)電力配線・ケーブルについては環境に	配慮した電線・エコケーブルを使用	E.
	する。		£ .
	 (ウ)電線の色別は原則として「共通仕様書 に相色別を施す。 	」とおりとし、ケーブルの項言は強不	
-	記香塗装		
-	三百三云 (ア)塗装箇所は、屋外、屋内(機械室、電気室、	消火ポンブ室,EPS,PS)の露出部分とする。	E
	(イ)亜鉛メッキ電線管の塗装は、エッチン		
	とする。		E.
オ	プルボックス		
	(ア)ブルボックスの末尾に(WP)の記号 を示し、ふたの止めねじ及びブルボック;		
	さブルボックス内部に突出しない構造と		
	し、長辺が200mm以下のものはこの限	りでない。	
	(イ)ステンレス鋼板を使用する場合の材質!	t, SUS	
	 304とする。 (ウ)ふたには、シール(ダイモ不可)又は 	アクリル製	
	(エッチング)で用途名を表示すること、	. t. t	
	屋外用はアクリル製(エッチング)とす	ō. <u>11</u> li	
л	取付け金具など (ア) 屋外、湿気の多い場所及び水気などの	ちる場所に使用するポルト頭け ス	
	テンレス製のものを使用する。		
	(イ)屋外の壁面に設置するブルボックス及		
	部及び左右)に防水コーキング処理をす。 ただし、取付け面が壁面から離れている		
	することができる。	11日は、 正言尺寸の治小によう言語	
+	ハンドホール・マンホール		
	(ア)ハンドホール及びマンホール内の配線(の表示は、アクリル襞(エッチング)	
	又は同等品とする。 (イ) ハンドホール及びマンホールのふたの?	コテナ 信利エテレオス	
		広小は、 町主以小し 7 0 ;	
2	地中配線 (ア)低圧及び弱電流地中配線の上部には、	原本シュレネエ同のトラにつ体長い	
	上重ね合わせて設置し、おおむねちm間)		
	もするものとする。ただし、需要場所で	ない場合には、用途のみを表示するもの	
	とする。 なお、高圧地中配線の場合の表示は、	おおわりの問題とする。	
	Z.Z.Z.Z.		
	(イ)多条ふ設する場合には、管相互に下表	に示す程度の間隔を取らなければな	
	らない。ただし、「電技」にこれ以上 の離隔距離が定められている場合には、	呼び径 (mm) 間隔 (左右・上下とも)	
	規定の離隔距離をとるものとする。	80未満 50mm	
	 (ウ) 合成樹脂管(波付硬質合成樹脂管含 む)のふ設は、砂を均一に5 cm程度 	80~150 70mm	
	動きならした後に皆をふ設するものと	150週週 100mm	
	し、管の上部5cm程度を、砂を用い		
	て締め固める。		1
ተ	ちょう架用線		
	メッセンジャーワイヤを使用してちょう架 を使用し、ハンガーを使用する場合には、そ		
	し、規定の接地をとらなければならない。	STOCKAPE .	
2	配線経路		
_	記 課社 印 分 電盤、制御盤及び端子盤等の 2 次観以降(の配線経路は監督員等の	-E
	承諾を受けて変更することができる。		E
÷	・はつり		I
	既存のコンクリート床、壁などの配管貫通:	師の穴明けは、原則として	E.
	ダイヤモンドカッターによる。		
シ	天井仕上表示		
	回面において宣名に()を付したもの	は直天井の、それ以外は二重天井の	NA COLOR
1	重を示す。		-
			2

ス コンセント等のブレート

■新金属 ロブラスチック ロステンレス ロ とし、ブランクブレートには、シール又はアクリル製で用途名を表示すること。

セ 配線器具等の取付高さ

受付, 壁掛型の器具等の取付高さは, 図面及び京都市標準図に記載のない 場合は原則として下表による。

名称	例 点	取付高[mm]
ブラケット (一般)	床上~中心	2.100
〃 (羅場)	п	2.500
〃 (鏡上)	鏡上端~中心	150
避難口誘導灯	床上~下端	1.500 以上
廊下通路誘導灯	床上~上端	1.000 以下
スイッチ (一般)	床上~中心	1.300
〃 (身体障害者用)	"	1,100
コンセント・電話用7ウトレット直列コニット(一般)	"	300
# (和室)	11	150
# (台上)	台上~中心	300
コンセント()	床上~中心	800
引込開閉器箱 (低圧)	床上~上端	2.000
分電盤・制御盤・実験台	床上~中心	1.500 (上端1.900以下)
開閉器箱	"	1.500
電磁開閉器用押しボタン	н	1.300
接地用端子盤	床上~下端	500
亚 雷接地用端子盤	地上 · 床上~中心	800
接地種埋設標	地上~中心	600
給油ボックス	地上~給油口	1,000
室内端子盤 (廊下・室内)	床上~下端	300
中間端子盤 (EPS-電気室)	床上~中心	1,500
親時計	н	1,500 (上端1,900以下
子時計・スピーカ	"	(天井高) x0.9
アッテネータ	п	1.300
インターホン	н	1.500
身体障害者用インターホン子機	"	1,100
呼出ボタン(身体障害者用)	п	900
復帰ボタン (パ)	Ш	1.300
廊下表示灯 (//)	u	2.000
テレビ機器収容箱	п	1.800
火報受信機 (複合盤)	床上~操作部	800~1,500
副受信機	康上~中心	1.500
自動報禮器収容箱	11	800~1,500
発信機	н	800~1,500
警報ベル	II	(天井高) x0.9
表示灯	н	(天井高) x0.8
連動制御器 (自動閉鎖)	н	1.500
ガス漏れ検知器(LPガス)	н	300
〃 (都市ガス)	天井面~中心	(天井高) -200

(資考) (天井高) x0.9及び(天井高) x0.8は天井高が2,500~3,000 mm の場合に適用する。

ソ 図面に指示された姿図、形状寸法及び型番等はすべて参考とする。

タ 耐震施工

(ア)設備機器の固定は、次に示す事項を除き、すべて「建築設備制置設計 施工指針(補設者住宅建築指導課)1997年版」による、 なお、下記の用語の定職は「官庁施設の総合新業計画基準及び同解説 (平成8年版)」(建設大臣官庁官房営績部監修)による。
a)設計用水平地震力

機器の豊量[kgf]に、設計用標準水準水平要度を乗じたものとする。なお、 設計用水平要度は次による。

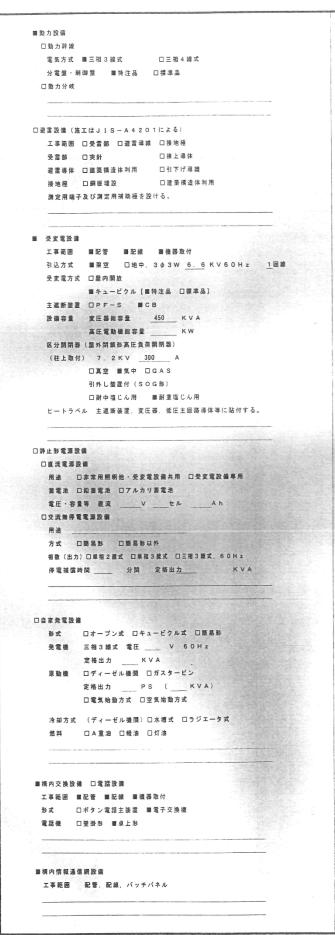
設計用水平震度

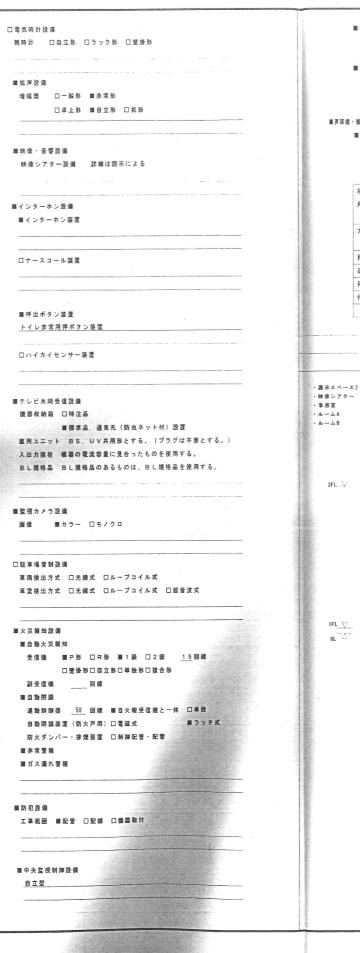
	耐震安全性の分類			
設置場所	特定の施設	(単類・定類)	一般の施	設 (乙類)
	重要後著・水槽	一般後帯・水槽	重要機器·水槽	一般提瑟·水槽
- 原始・原上	2.0	1.5	1.5	1.0
	(2.0)	(2.0)	(2.0)	(1.5)
及び塔屋	(2.0)	(1, 5)	(1, 5)	(1, 0)
	1.5	1.0	1.0	0.6
中間階	(1.5)	(1,5)	(1.5)	(1.0)
	(1.5)	(1. 0)	(1.0)	(0.6)
	1.0	D. 6	0 6	0.4
地下階・1階	(1.0)	(1.0)	1.5	(0.6)
	(1.5)	(1.0)	(1.0)	<0 62

(注) ()内の数値は防援支持の機器の場合に適用する。
 >内の数値は水槽類に適用する。

京都市 💐	学習・エコロジーセンター(仮称)新造工事 吉安 吉十 ただし、電気設備工事	図No.	02 37 ac
特記仕様書(R R		
	課長 係長 係	A	平成14 年1 月
設備課			
重要機器			
- 記電盤	· 自家発電装置 · 交流無停電電源装置	·直流電源	装置
・交換機	·火災報知器受信機 ·中央監視装置	・防災機器	· 無線用機器
上層階の	定義は次による。		
6階連以	下の場合は最上階・7~9階建の場合は上	層2階	
10~1	2 階速の場合は上層3 階・13 階速以上	の場合は上層	4 階
b) 設計.	用垂直地震力		
設 밝	用水平地震力の1/ 2とし. 水平地震力	と同時に働	くものとする。
(イ) 本違:	物の耐震安全性の分類を次に示す。		
= 1	特定の施設(甲類・②(類) ロー般の	施設(乙類)	
(ウ) 耐震)	計算書は、次の機器について提出する。		
a 機器	固定の計算書(運 転重量が100kgを	超える機器	1
b B	家発電設備の水槽等の計算書		
チ 床埋設配管			
	事の後打ちアンカーに施工に際して調整	を行い、将来	発生する工事に
	設配管図を作成すること。		
ツ 総合図			
請負者が建	薬・設備その他関連する工事の全体概要	と相互関係を	把握し、施工図
作成の適正	化と効率化のために活用することを目的。	として、各工	事に含まれる部
品・器具類	を同一平面図または展開図に網羅記入し	ともの(以下	総合図)を作成
すること。	総合図の作成要領については現場係員の	皆示による。	
テ データの手	K.N		
本施設での	照明環境は竣工から一年目検査までに夏)	明、冬期、中	間期ごとに各1
週間の照度	データを計測し、管理計測整電力量デー	タとあわせて	提出すること。
室内照明環	境は、 1F, 2F, 3Fの南北の各 1 室の照度を2	†溯すること	とし、各室に
おいては窓	面、中央、廊下側の3ヶ所を計測すること	٤.	
(2)設備概要			
■電灯設備			
■電灯幹線			
電気方式!	□単相2線式 ■単相3線式		
分電盤・参	御盤 ■特注品 口標準盤		
口電灯分岐			
(ア)照明	器具は姿図、器具表などにより納入仕様	書の提出を	要する。
なお.	設計図面中,型 番(便宜上,製造者の	品番を記入し	たものは
除く)の	記入のあるものは、(社)日本照明器具	工業会規格	「公共施
設用照明	器具」の機種を示す。		
(イ) 蛍光	灯器具(ただし、誘導灯を除く)の安定	器の回路方	式、電圧は
図面又は	京都市標準図に記載のない場合は、次に	よる。	
[蛍光灯の種類	回路方式	常庄
環形	30形(下記以外)	GH	100V
*# 1D	30形(電池内蔵形非常用照明器具)	GL	100V
	15形以下 防雨形器具,防湿形器具及び	GL	100V
	20形 電池内藏形非常用照明器具	GL.	
直管形	20形上記以外のもの	GН	100V
	30 78	GH	100V
	40形及び110形 13.18.27ワット	R H E L	100V
コンパクト形	36. 55ワット	РН	100V
HfB	32/45ワット 下面開放形	РСН	v
	45ワット固定 ルーパ又はカバー付	PNH	V
)箇所以上	
	開放形のメタ ルハライドランブ(40	0 W 以下)は	は,原則として
(エ) 下面	謝証形のスタールパワイドワンク(40) 脂を塗布したものとする。		
(エ) 下面 フッ素樹 (オ) 照明	霜を塗布したものとする。 器具 Ea321,Ea321Sは各2台ずつ予算	を納入する	5 .
(エ)下面 フッ素樹 (オ)照明 ■コンセント分	溜を塗布したものとする。 器具 Ea321,Ea321Sは各2台ずつ予∛ ⊌岐		5 .
(エ)下面 フッ素樹 (オ)照明 ■コンセント分	霜を塗布したものとする。 器具 Ea321,Ea321Sは各2台ずつ予算		5.
(エ)下面 フッ素樹 (オ)照明 ■コンセント分	溜を塗布したものとする。 器具 Ea321,Ea321Sは各2台ずつ予∛ ⊌岐		5 .

別紙③ 特記仕様書(2)

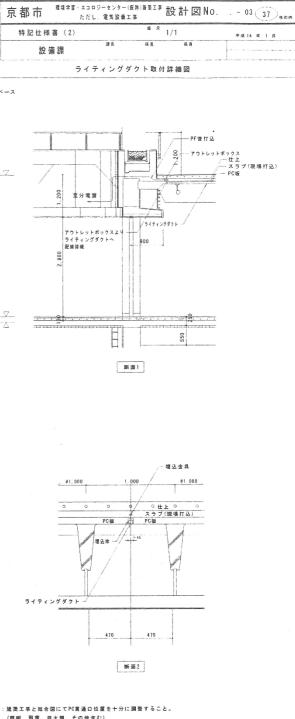




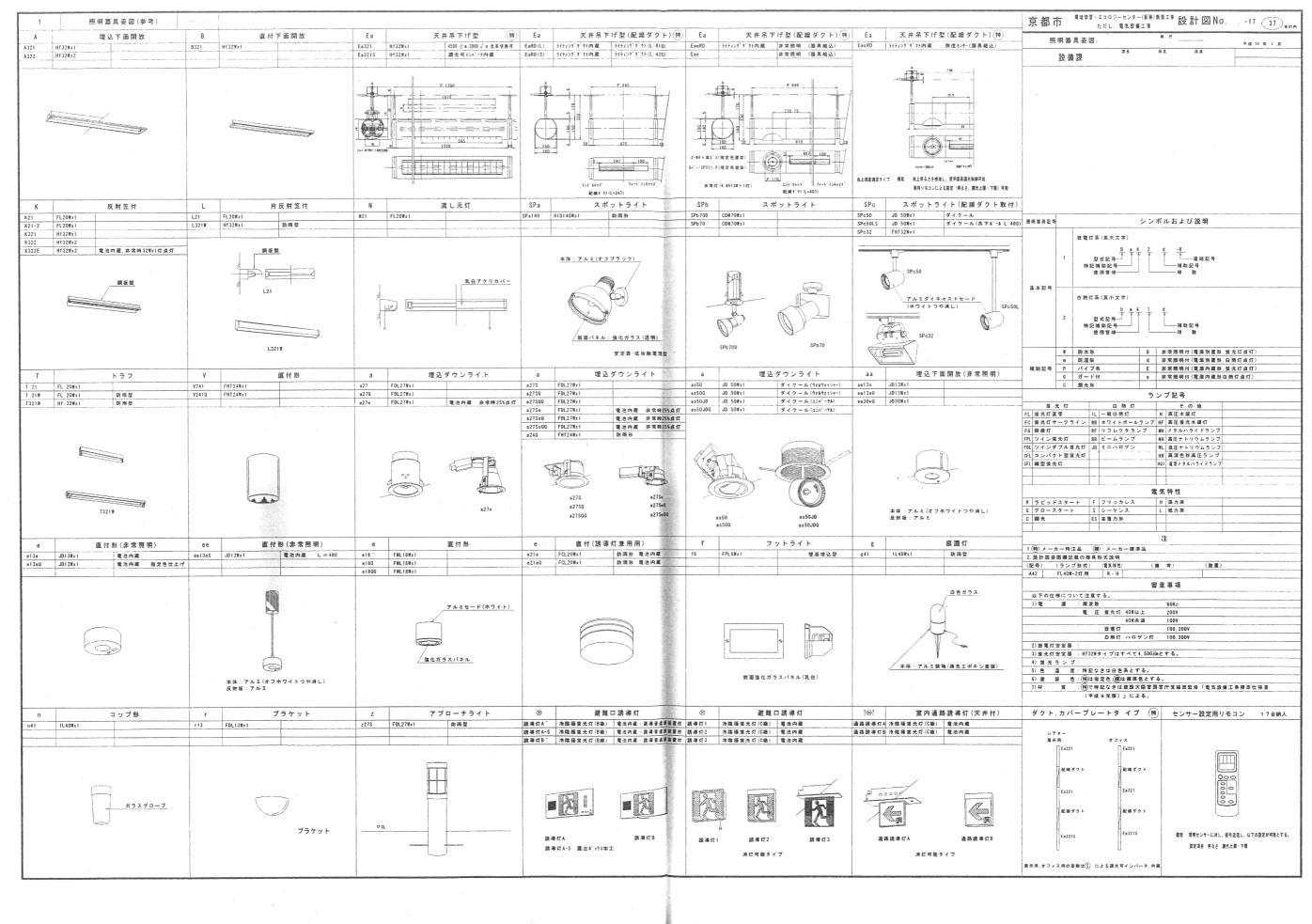
■ 模内 配 雪 線 路 特記仕様書(2) 引込配線設備、外灯設備 係員 課長 設備課 ■構内通信線路 電話引込用配管設備 - 展示スペース ■昇降機・搬送設備(建設大臣官房官庁営捕部監修「機械設備工事共通仕様書(平成9年版)」による。 ■エレベーター(京都市監修「人にやさしいまちづくり要網」による。) 2FL _____ 項目 号機 号機 号機 1号機
 ■ 乗用
 □ 乗用
 □ 乗用
 □ 乗用

 □
 □
 □
 □
 □
 至分電整 用涂 ■ローブ式 ロローブ式 ロローブ式 ロローブ式 方式 アウトレットボックスより ライティングダクトへ 配線接線 口油圧式 口油圧式 口油圧式 900 積載量, 定員 900 Kg13人 Kg 人 Kg 人 Kg 人 m /分
 45 m/分
 m/分
 m/分

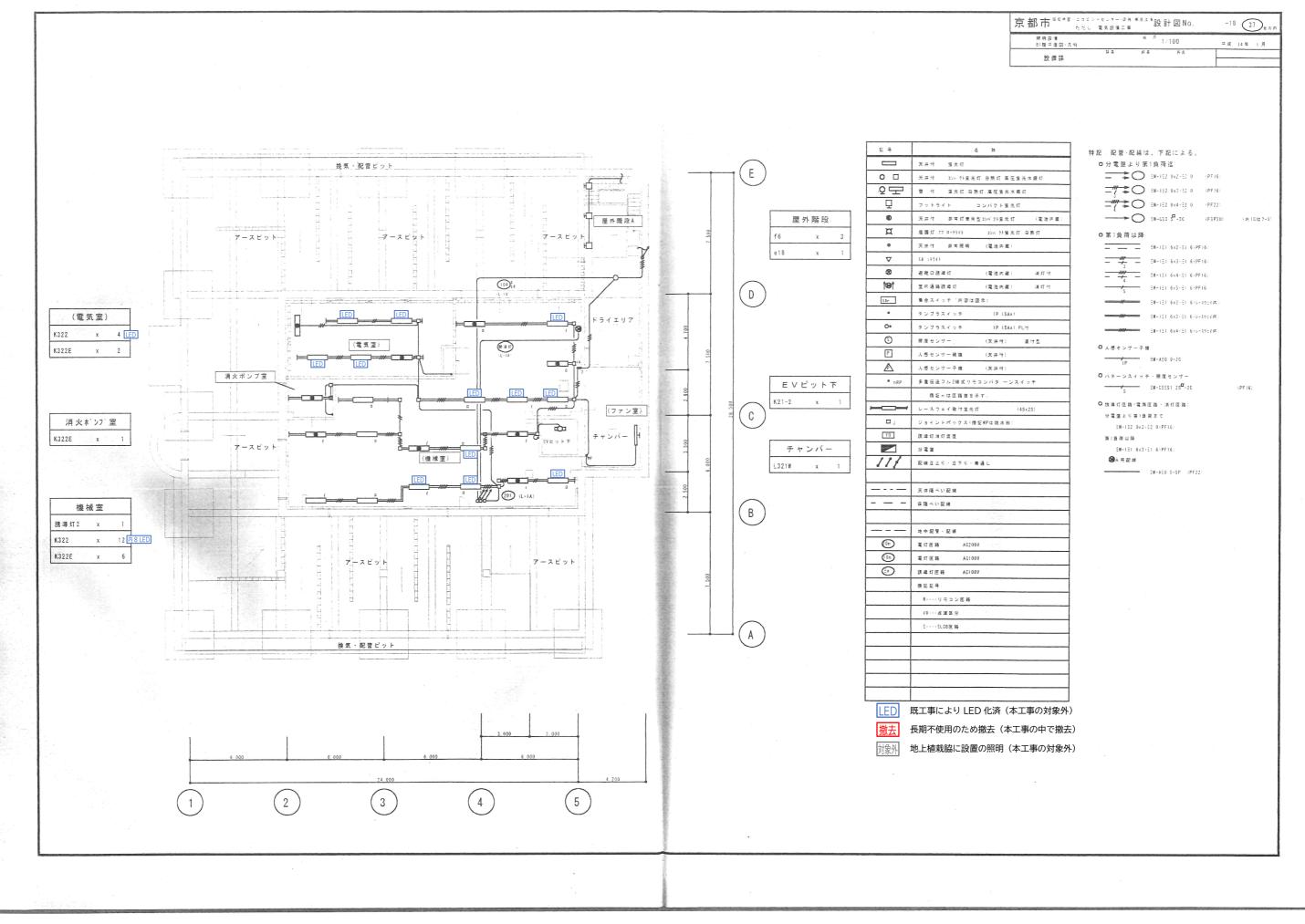
 4 箇所
 箇所
 箇所
 速度 4 箇所 停止箇所数 箇所 ■有 □無 □有 □無 □有 □無 □有 □無 付加装置 IFL____ ----GL 🛆 ライティングダクト・照明器具取付詳細図 照明器具取付詳細図 新面1 ・ワークショップ・展示スペース ・クッキング実験室 ・工房 ・市民、事業者サロン、図書コーナ · ルームC · ルームD PF管打込 00-7ウトレットボックス イレーを継接続(--スラブ(現場打込) 200 至分電盤 ライティングダクト -. . . 84 470 470 断面2 断面1 - 打込配管 ·----アウトレットボックス 注記:建築工事と総合図にてPC貫通口位置を十分に調整すること。 ---PC賞通口 (照明、弱電、自火報、その他含む) @1.000 O 防火区面貫通処理配線 / ○仕上 ○ スラブ(現場打込) 防火区画部を貫通する配線は防火区画貫通処理を施すこと。 照明器具 470 470 断面2



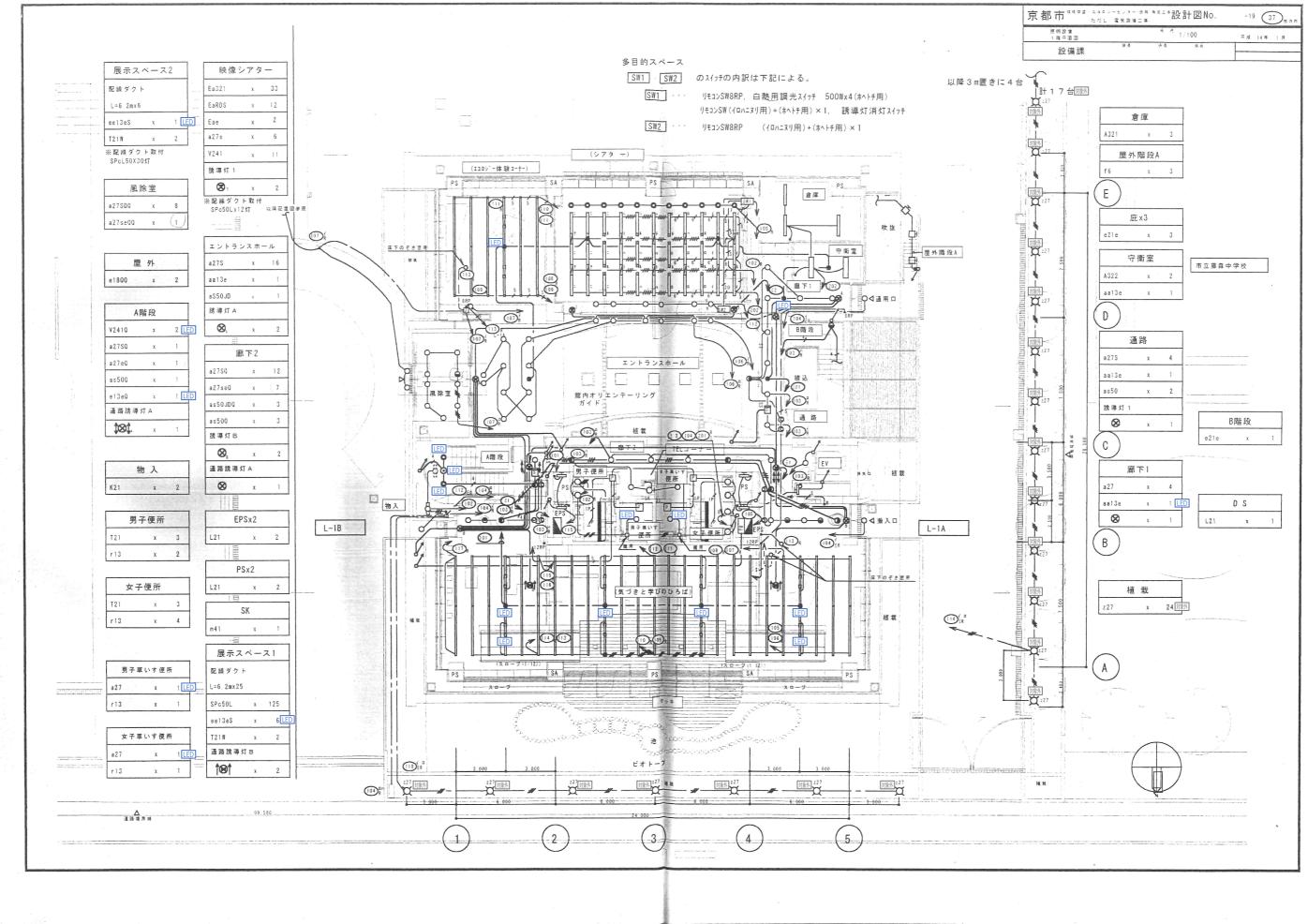
別紙④ 照明器具姿図



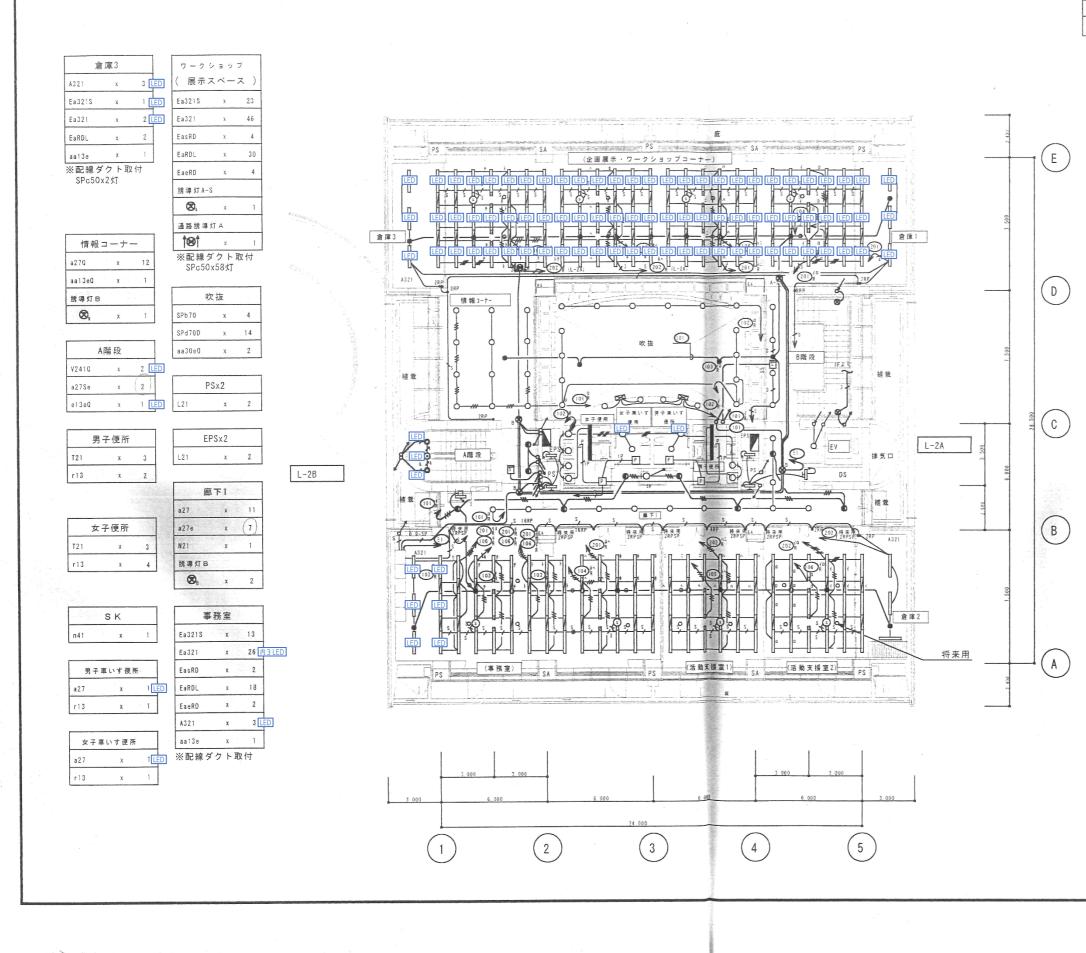
別紙⑤ 照明設備 B1階平面図・凡例



別紙⑥ 照明設備 1 階平面図



別紙⑦ 照明設備 2階平面図



京

	^{™™} 設計図No.	-20 37 a D M
照明設備 2 路平面図	# R 1/100	二成 14年 1月
設備課	妖星 铁道	



BB	皆段	
e21e	x	2
aa13eC	х	1
a270	х	4

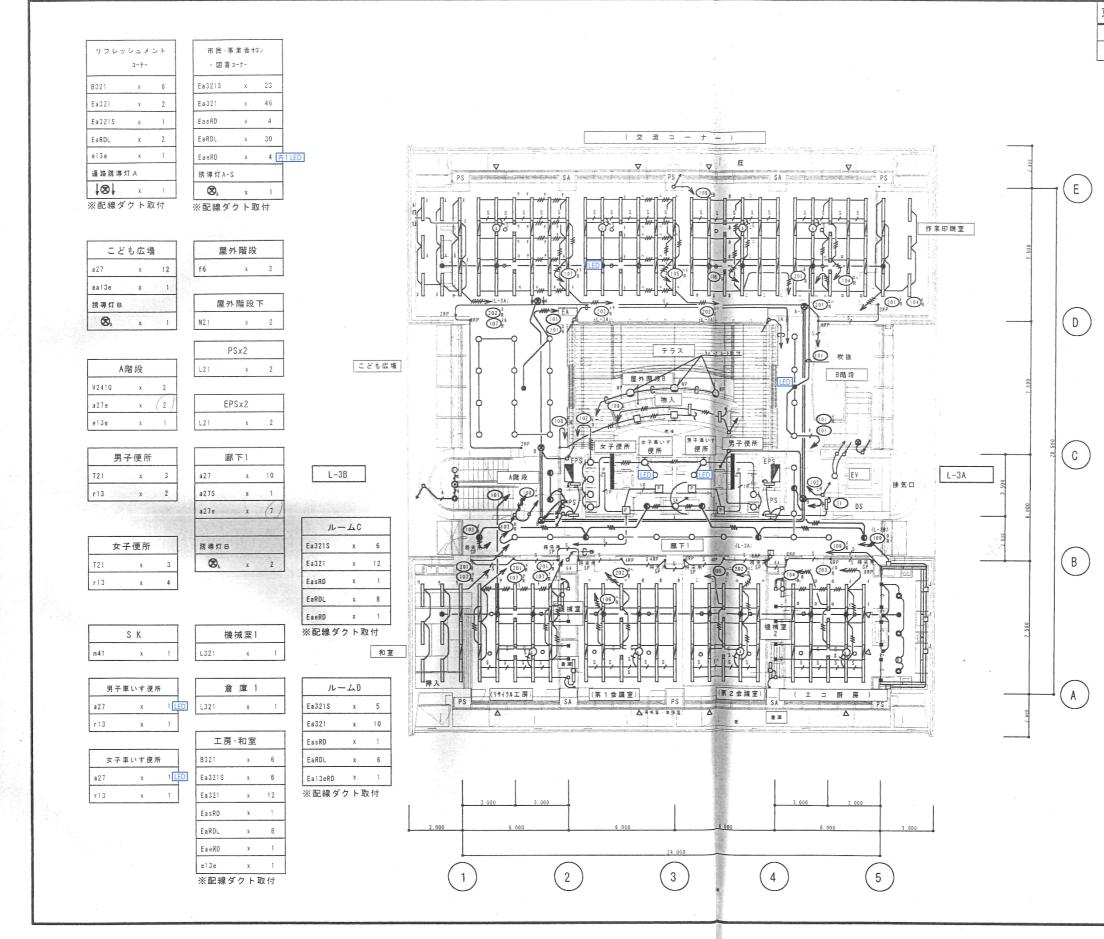
	DS		
L21	x	1	

ルームA			
Ea321S	х	6	
Ea321	x	12	
EasRD	x	- 1	
EaRDL	x	8	
Ea13eRD	x	1	
※配線ダ	クト	取付	

ル・	— ДВ		
Ea321S	X	5	
Ea321	x	10	
EasRD	x	1	
EaRDL	x	6	
EaeRD	X	1	
※配線ダクト取付			

倉庫2			
A321	x	3	
Ea321	x	2	
EaRDL	x	2	
Ea321S	x	1	
aa13e	x	1	
※配線ダ	クト耴	又付	

別紙⑧ 照明設備 3階平面図



京都市『***	・ニコロジーセンター(原料 ただし、電気設備工業	해 및 I 후 금기 전급	t計図No.	-21 37 tt 2 F
照明設費 3 階三面回		8,2	1,/100	三成 14年 1月
設備課	9.5	任長	¥ à	
		~		

作業印刷室			
B321	х	3	
Ea321	x	2	
EaRDL	х	1	
EaeRD	х	1	
Ea321S	х	1	
※配線ダクト取付			

B₿	皆段	-
e21e	x	1
aa13e	x	1 LED
a27	X	4

	D	S	÷
L21		х	1

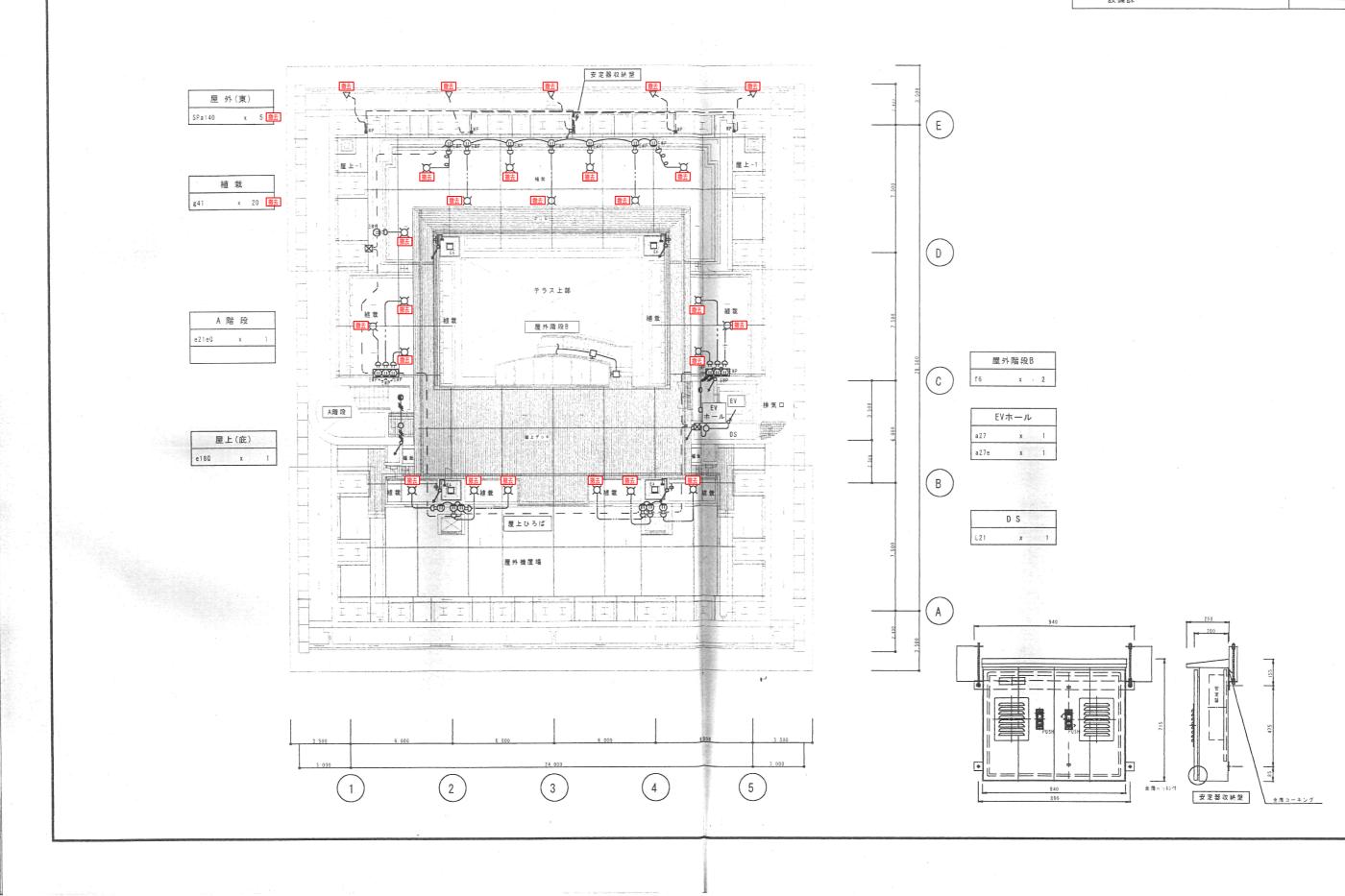
	· · · ·	
クッキンク	実験	室
Ea321S	х	5
Ea321	х	10
EasRD	x	1
EaRDL	x	6
EaeRD	x	1
T321W	x	9
V241	x	3
el3e	x	1
SPc32	х	2

※配線ダクト取付

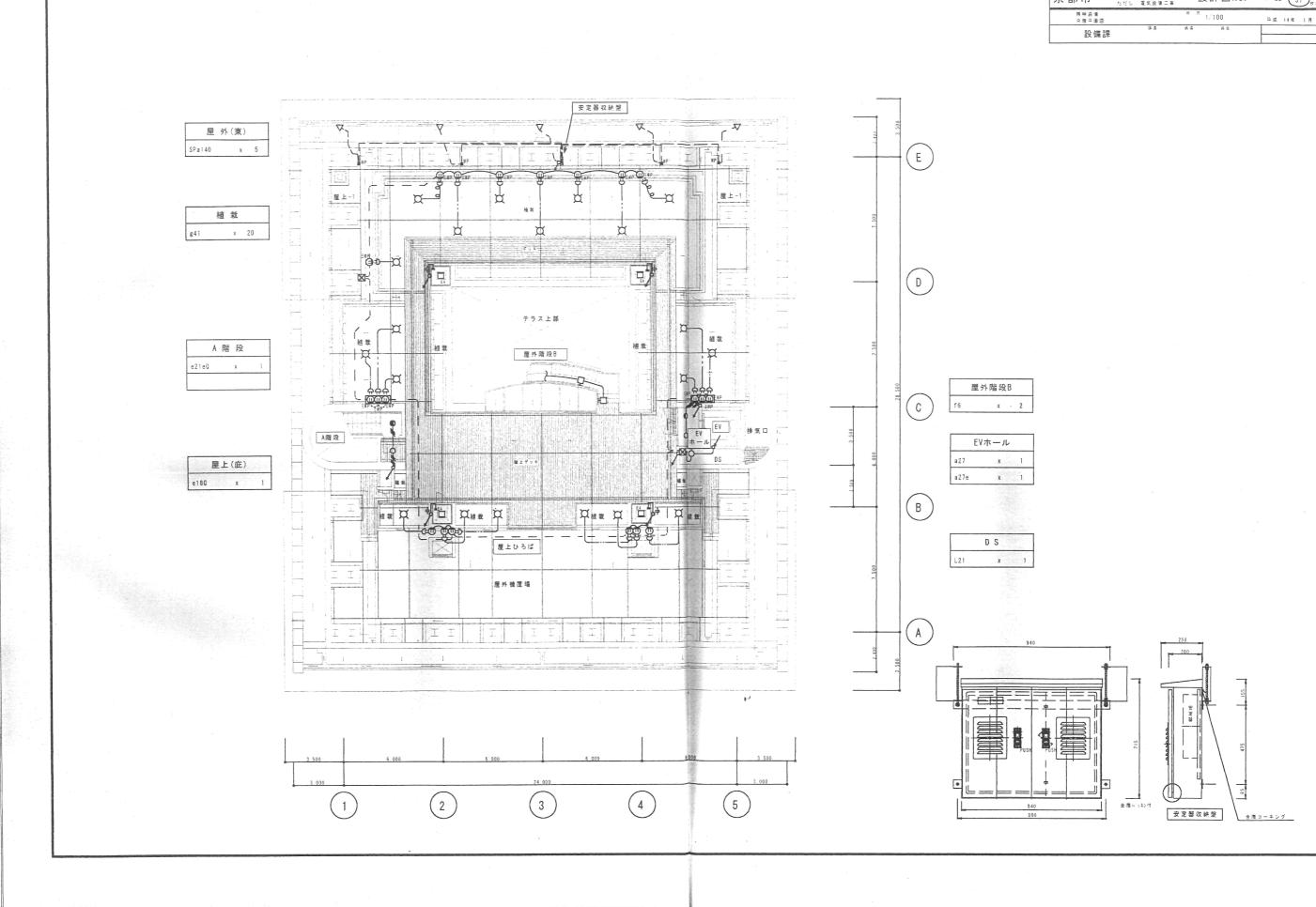
機械室2				
L321	x	1		

	启	厚 2	
L321		x	1

別紙⑨ 照明設備 R階平面図



京都市『**	ロンーセンター(6) ミレー電気設備工員	^{時,} 希美工者 言公 事	計図No.	-22 37 to 5 m
照明 設備 日 暦 三 面 図		考 尺	100	三成 14年 1月
設備課	19 A	% 5	诺克	



京都市『**	ロンーセンター(6) ミレー電気設備工員	^{時,} 希美工者 言公 事	計図No.	-22 37 to 5 m
照明 設備 日 暦 三 面 図		考 尺	100	三成 14年 1月
設備課	19 A	% 5	诺克	